



## 11月の歳時記(霜月/November)

## 立冬！虫も動物も冬眠の準備中！



(大嘗祭に献上する米を収穫する御抜穂式)

### ★大嘗祭【農耕祭祀/弥生時代頃起源】

新天皇が即位後初めて行う新嘗祭の事。  
 毎年秋に行われる新嘗祭は豊作に感謝するお祭り。  
 稲の出来栄えが国民の命に係わることから、天皇の最も重要な祭祀のひとつ。(春は豊作を願う祈願祭)  
 この祭祀が終わるまでは天皇はじめ皇室の方々は新米を食さない。  
 先ずは神様にお供えしてから！国民とは意識がちよっと違いますね。  
 特に新天皇即位の時の新嘗祭は、大嘗宮を造営し齋行されることで大嘗祭といわれ、古来造営は10日前に材料を調達、7日前に地鎮祭、5日間で造営し、祭の3日前に竣工していたらしいが、現在では数カ月を要している。齋行後は奉却される。



※ 大嘗祭の献上米を栽培する田を『齋田』と言い、2カ所あり「悠紀」と「主基」称し、亀卜(アオウミガメ)により都道府県を決定する。

今回の献上米は、悠紀/下野(栃木県)、主基/丹波(京都府)が選ばれ、持主は大田主と称され奉耕者として関連祭祀に招か

### ★酉の市

始まりは江戸時代、「春を待つ事の始めや酉の市」其角の句にもあるように正月を迎える最初の祭とされていた。関東中心に鳥に因む寺社で11月の酉の日、酉の刻から開かれる露天市。最初の酉の日を「一の酉」以降「二の酉」「三の酉」と言い、「三の酉」のある年は火事が多いとの俗説。熊手や招き猫などの縁起物を買ひ、一年の無事と来る年の福を願います。(11/8,20)縁起熊手は、長寿=鶴、当たる=矢、立身出世=鯉、福を呼ぶ=七福神、お金が儲かる=打ち出の小づちなど…。運を「かつ込む」、福を「はき込む」といった江戸っらしい洒落の利いた縁起物です。うんと値切って購入しその分祝儀とし、威勢の良い手打ちで締める。

★こよみ:文化の日(3)、十日夜(6/収穫祭)、立冬(8)、大嘗祭(14)、七五三(15)、小雪(22)、勤労感謝の日(23)

## 1 11月は『品質月間』 みんなでつくる つなぐ お客様の笑顔！

お客様を第一に考え、新たな価値を生み出すために、トップから第一線の従業員まであらゆる部門が全員参加で、自分の仕事やり方を改善・管理する活動です。

熱心に取り組んでいるところはそのことを誇りに感じ  
 いつの間にか疎かになっているところ、綻びが見え始めたところは反省・改善を行い、様々な人が想いを一つにして品質管理に取り組みましょう！

### ★計量強調月間(11月1日計量記念日)

計量はすべての基本であり、生産活動や身近な生活の中にはなくてはならない存在  
 職場の管理状況を確認し、常に最適な状態で計量及び精度の維持を確保願う  
 ※鹿島工場(東西)は、適正計量管理事業所の指定を受け、自主的な計量管理を推進



## 2 秋季全国火災予防週間(11/9~15)『ひとつずつ いいね！で確認 火の用心』



指導事項:職場の3S、可燃物管理の徹底、コンセント点検・埃除去、たこ足配線禁止  
 危険物管理の徹底(取扱い、貯蔵・施設等の点検補修等)  
 防火対象物の防火安全対策の徹底。消火設備の維持管理の徹底

### 命を守る7つのポイント

- ・3つの習慣:寝たばこ禁止。ストーブ周囲に可燃物を置かない。火から離れるときは火を消す。
- ・4つの対策:住宅用火災警報器設置・維持管理。寝具・カーテンは防災製品を使用する。消火器等の設置。隣近所の協力体制を築く。

備え:初期消火(消火訓練)、避難ルートの見える化・周知、避難通報訓練等の実施



## 3 冬先の安全衛生管理

### インフルエンザの時季到来 予防の徹底を！

- ①転倒災害防止:凍結による滑り転倒災害のリスクが急激に高まる為、細心の注意を払う事
- ②感染予防の徹底:手洗い・うがいの励行、マスクの着用、湿度管理、空間除菌剤の利用等
- ③インフルエンザ予防:予防接種の全員実施を徹底する(早めの接種)
- ④交通事故防止:早めに冬タイヤへの交換、暗くなるのが早いので早目の照明点灯等
- ⑤始業時は職場体操等で、筋肉硬化による動作の鈍化・腰痛等の予防を行う。
- ⑥防寒対策はヒートテック等の衣類を着用し、着ぶくれを少なくする(安全面)
- ⑦心身の健康管理は、入浴剤を入れたお風呂で疲れをとって、保湿クリームの利用等



今年も残り2ヶ月を切る！ 今年の目標を確認し、焦らず急がず着実に！

決めたこと 守る勇気と続ける努力 みんなで築こう安全職場！

快適職場に明るい笑顔 あなたが主役の健康づくり

ご安全に！